



大阪ガス

ガス瞬間湯沸器

取扱説明書

33-035型

保証書付

型式名 R5-22

R5-22型

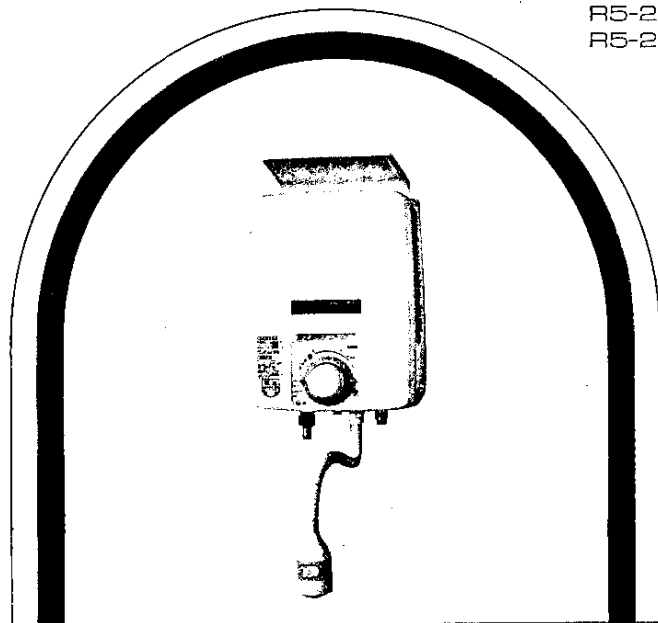
R5-22A型

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市東区平野町5-1	☎大阪06(202)2221
南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎580	堺市住吉南町2-2-19	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里3-9-6	☎高槻0725(71)0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4-1-1	☎西宮0798(26)3101
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内0728(62)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町16-17	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸078(576)5231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸通御池角	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1-1-1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	☎575	加古川市加古川町粟津2-9-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎568	豊岡市三坂町6-5-7	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	☎525	草津市釜分町宇尻堀6-80-1	☎草津0775(62)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12-11	☎彦根0748(22)3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南長浜町3-4	☎長浜0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

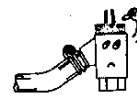
大阪ガス株式会社



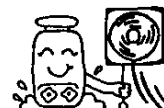
ガス器具をご使用になるときのご注意



小型ガス湯沸器での風呂給湯はおやめください



ガス器具をご使用になったあとは必ずガス元栓も閉じる習慣を



ガス湯沸器つけたその手でハイ/換気



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合わせください。

ごあいさつ

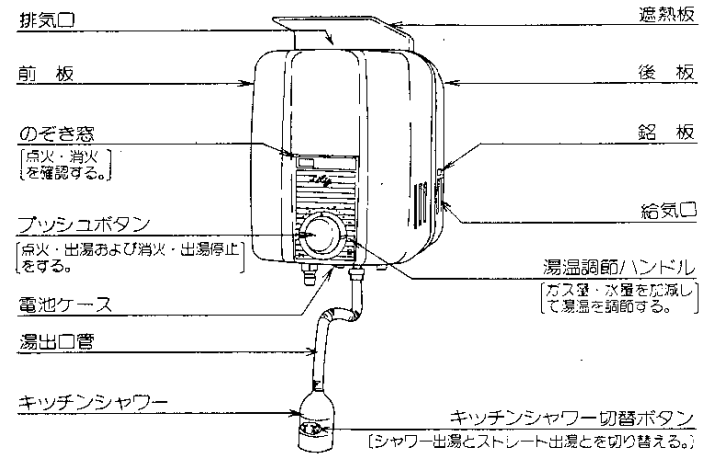
このたびは、大阪ガスのガス瞬間湯沸器をお
買求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

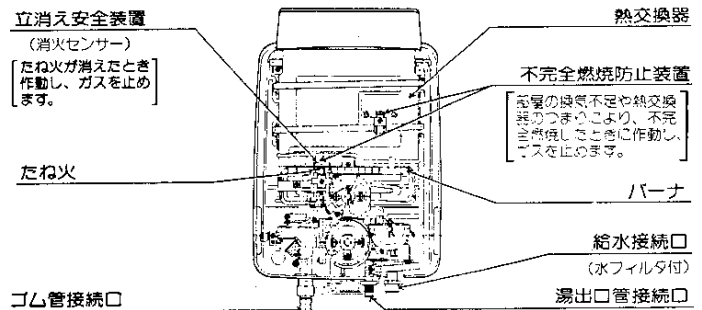
- 各部の名称と働き..... 2
- 特に注意していただきたいこと..... 3
- 湯沸器の設置・工事..... 6
- 使用手順..... 10
- 冬期の凍結による破損予防について..... 13
- 日常の点検・手入れ..... 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 16
- 長期間使用しない場合..... 17
- アフターサービス..... 18
- 仕様一覧表..... 19
- 寸法図..... 20
- 別売部品のご紹介..... 20
- 特長..... 21
- 本製品と快適なくらしのために..... 22

各部の名称と働き

外 観



内 観(前板を外したところ)



特に注意していただきたいこと

正しく安全にお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ① 湯沸器(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
- ② 銘板は湯沸器右側面に貼っています。
- ③ ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。お宅のガスと一致していることをご確認ください。

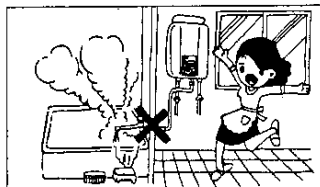
(銘板)

メーカー型式名
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用13A
- 都市ガス用6A
- LPGガス用

用途についてのご注意

- ① この湯沸器は元止め式ですので、給湯配管(先止め配管)や給湯ホースの接続は、絶対にしないでください。
- ② この湯沸器は、お風呂のお湯はり等の長時間出湯には適していません。(長時間出湯は絶対にしないでください。)



使用上のご注意

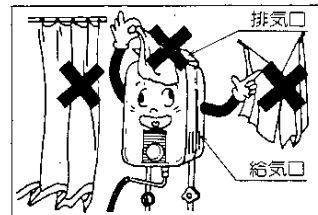
- ① ガス漏れ予防
 - ① お出かけや、おやすみになるときは、ガス元せんを必ず閉じてください。
 - ② ゴム管はガス用ゴム管をご使用ください。(ビニール管は弾力性がなく熱にも弱いので、絶対に使用しないでください。)

特に注意していただきたいこと②

- ① ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。(古くなったゴム管は取り替えてください。ゴム管の寿命はおよそ3年がめやすです。)

② 火災予防

- ① 湯沸器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- ② タオルやふきんなどを湯沸器の排気口の上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないようにご注意ください。
- ③ 湯沸器の上に糊があり、物を置く場合は落下しないように、十分にご確認ください。



③ やけどのご注意

- ① 使用中または使用後しばらくは、湯沸器はあつくなっていますので、プッシュボタン・湯温調節ハンドルおよびキッチンシャワー切替ボタン以外には触れないでください。
- ② 出湯した直後には少し熱いお湯が出ることがありますので、適温になるまで少し待ってご使用ください。

④ 飲料用や調理用にご使用のとき

- 湯沸器を長時間使用しなかったときには、すぐに飲料用や調理用にご使用にならないで、湯(水)を少し(コップに2~3杯分)流してからご使用ください。

⑤ 換気のご注意

- ① 湯沸器をご使用のときは、換気扇を回すなど必ず換気をしてください。
 - 自動的に換気扇を回すことのできる「換気扇運動スイッチ」(別売)のご利用をおすすめします。



- ② 閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少して不完全燃焼を起こし始め、不完全燃焼防止装置が作動して消火することがあります。

特に注意していただきたいこと③

⑥ ガス事故防止

- ① ガス漏れに気付いたときは、すぐにご使用を中止してガス元せんを閉じ、窓や戸を開いてから、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス社にご連絡ください。
- ② ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇や他の電気器具スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しを絶対にしないでください。
(火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります、大変危険です。)

⑦ 凍結についてのご注意

- 冬期、湯沸器内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による湯沸器の破損を予防するための処置をしてください。
(詳しくは、13ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。)

⑧ 異常時の処置

- 湯沸器をご使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、あわてずにプッシュボタンを押して消火・出湯停止してから、必ずガス元せんを閉じてください。
(詳しくは、16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をごらんください。)

⑨ 日常の点検・手入れ

- ① 湯沸器を安全に、快適に、ご使用いただくために日常の点検、手入れを必ず行ってください。
(詳しくは、14～15ページの「日常の点検・手入れ」の項をごらんください。)
- ② 日常の点検・手入れの際には湯沸器が十分冷えてから行ってください。
- ③ この湯沸器は乾電池を点火用のスパーク電源として使用していますので、消耗してくると点火しなくなりますので、乾電池を交換してください。
(詳しくは、15ページの「乾電池の交換のしかた」の項をごらんください。)
- ④ 湯沸器が故障または破損したと思われるときは、使用しないでください。
(このようなときは、ご自分で修理なさらないで、必ずお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。)

湯沸器の設置・工事

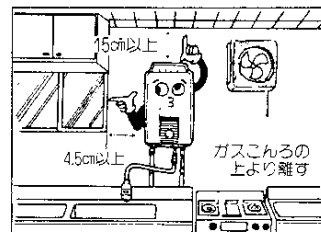
湯沸器の設置

① 湯沸器の設置についてのご注意

- ① 湯沸器の設置はお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- ② 換気(給気や排気)が十分にできるところに設置されているかご確認ください。
(換気扇などを取り付けて換気できるようにしてください。)
- ③ 浴室には絶対に設置しないでください。
- ④ 屋外には絶対に設置しないでください。
(雨や風のため消火したり、冬期には凍結して湯沸器が破損するなど不具合が生じます。)
- ⑤ 湯沸器に直接強い風があたらないようにしてください。
- ⑥ 家具・壁その他可燃物は湯沸器から十分に離してください。
- ⑦ ガスレンジやガスこんろなどガス器具の上には設置しないでください。
(排気ガスや調理物の蒸気、油などにより、湯沸器の故障や、寿命の低下にもつながります。また、不完全燃焼防止装置が作動することもあります。)
- ⑧ 特殊薬品(アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など)は近くに置かないでください。
(特殊薬品は湯沸器の部品を破損させたり、不完全燃焼を起こしたりして、湯沸器の寿命を著しく低下させることがあります。)
- ⑨ ガソリンやベンジンなどの引火性危険物は近づけないでください。

② 湯沸器の設置場所

- ① 湯沸器ののぞき窓の位置が目の高さになるようにすると、点火・消火が見やすく便利です。
- ② 遮熱板を取り付けた状態で天井から15cm以上離してください。
- ③ 湯沸器両側面は戸棚や壁などより4.5cm以上離してください。



湯沸器の設置・工事②

③ 湯沸器の設置方法

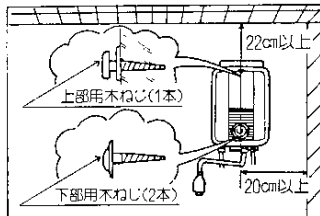
①天井より22cm以上、戸棚や壁などより20cm以上離れた位置に、上部用の木ねじ(1本)をいっばいにねじ込んでください。

(上部用(1本)・下部用(2本)の木ねじがありますのでご注意ください。)

〔取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。〕

②ねじ込んだ上部用木ねじに湯沸器の取付足上部穴を引っ掛けてください。

③湯沸器をまっすぐにしてから取付足下部穴(2カ所)を下部用木ねじ(2本)でしっかりと固定してください。



④ 付属部品の取付方法

■ 遮熱板の取付

遮熱板を後板にしっかりと差し込んでください。

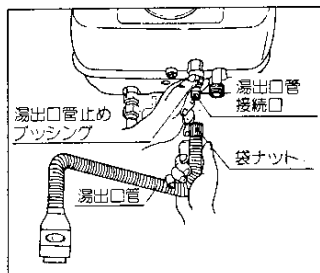
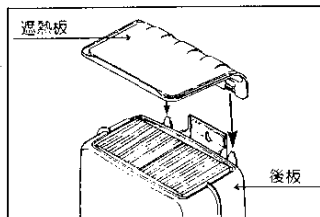
■ 湯出口管の取付

①湯出口管接続口に湯出口管を差し込んでください。

②湯出口管止めプッシングと湯出口管の袋ナットをしっかりとねじ込んでください。

■ 乾電池の入れ方

乾電池を電池ケースへ入れてください。(詳しくは、15ページの「乾電池の交換のしかた」をごらんください。)



湯沸器の設置・工事③

給水配管工事

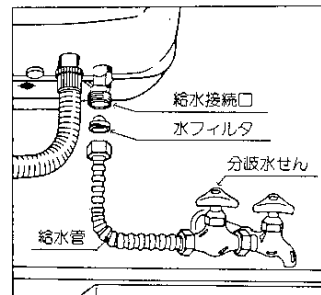
①給水配管工事は給水事業者の指定工事に依頼してください。

②給水圧力は、最低0.4kg/cm²(湯温調節「低」の位置)以上ですが、快適にご利用いただくためには、0.5kg/cm²~7kg/cm²が好ましい条件です。

③水道側には給水元せんまたは分岐水せんを必ず取り付けてください。

④湯沸器の給水接続口へ給水管を接続してください。

(給水管には市販の金属フレキ管が利用できます。)



<ご注意>

①給水管を接続する前に、給水元せんを開いて配管内のゴミ・砂・シール材などが出なくなるまで水を流してください。

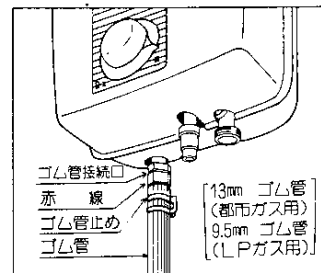
②給水管を接続する前に、給水接続口に水フィルタがはめ込まれていることを必ずご確認ください。

ガス配管工事

①ガス配管工事はガス供給業者に依頼してください。

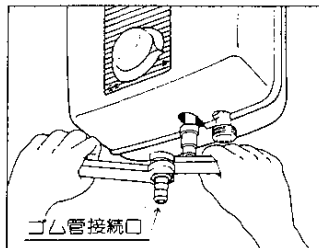
②湯沸器を設置する場所に専用のガス元せんがない場合、または位置や口径などが適切でない場合は、新設または交換してください。

③ゴム管を挿入する場合は、ゴム管接続口の赤線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで止めてください。



湯沸器の設置・工事④

- ④ ゴム管を他の部屋から延長したり、継ぎだしや分岐(ふたまた)させたりしないでください。
- ⑤ 金属管、金属可とう管または継手付強化ガスホースによる配管ができます。(このときは、ゴム管接続口を取り外して配管してください)
- ⑥ ゴム管接続口の取外や金属管などの配管をするときには、湯沸器のガス入口の六角部にスパナを差し込んで取付取外をしてください。



<ご注意>

- ① ゴム管が長すぎたり短かすぎると、折れたりねじれることがありますので、ご注意ください。
- ② ゴム管はガスこんろなどの熱を受けたり、高温部に触れないようにしてください。(ゴム管の寿命が短くなります。)

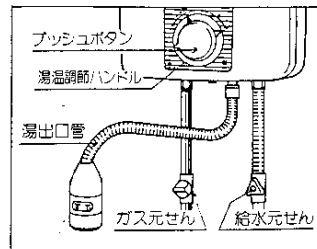
換気扇連動スイッチ(別売部品)について

- ① 室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇連動スイッチのご利用をおすすめします。
- ② 換気扇連動スイッチをご利用になりますと、湯沸器の点火・消火に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
- ③ 換気扇連動スイッチは別売していますので、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

使用手順

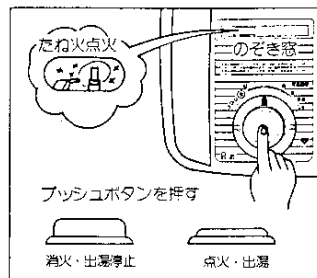
点火前の準備と確認

- ① 給水元せんを全開にしてください。
- ② 湯温調節ハンドルを「水」の位置にして湯出口管から水が出てくることを確かめてください。
- ③ 水が出てくることを確かめてから湯温調節ハンドルを湯温調節の位置(「低」から「高」の間)に戻すと水が止まります。
- ④ ガスの元せんを全開にしてください。



点火・出湯(お湯の出し方)

- ① プッシュボタンをいっぱいまで押すと自動的に点火・出湯します。
 - 押し不足の場合は点火しない場合があります。
 - 点火スパーク時間は点火を確実にするために約8秒間続きます。
 - 乾電池が消耗してくると点火スパーク時間はしだいに短くなってきます。
- ② 点火していることをのぞき窓より確かめてください。



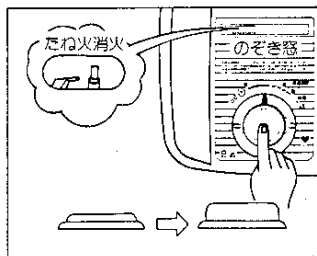
<ご注意>

- ① 乾電池が消耗してくると、プッシュボタンを押して点火操作をしたとき、パチパチというスパーク間隔が長く(1秒間に2~3回程度)なります。このときには、新しい乾電池と交換してください。(詳しくは15ページの「乾電池の交換のしかた」をごらんください。)
- ② 消火・出湯停止してからすぐにご使用のときは、約30秒間待ってから点火・出湯操作をしてください。
- ③ 朝一番など点火・出湯操作をしても点火しないことがありますが、このときも出湯停止操作した後、しばらく(約1分間)待ってから、点火・出湯操作をしてください。

使用手順②

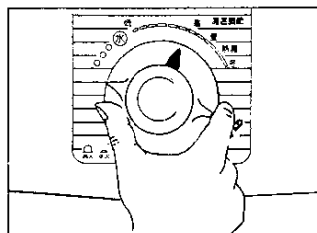
消火・出湯停止(お湯の止め方)

- ①プッシュボタンをもう一度いっぱいまで押し、自動的に消火・出湯停止します。
- ②消火していることをのぞき窓よりご確認ください。
- ③長時間使用しないときはガス元せんを閉じてください。



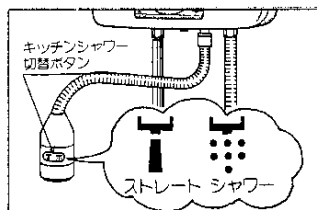
湯温・湯量調節のしかた

- ①お湯をあつくしたいときは湯温調節ハンドルを右(「高」)の方向へ回してください。(湯量が少なくなりガスの量が多くなります。)
- ②お湯をぬるくしたいときは湯温調節ハンドルを左(「低」)の方向へ回してください。(湯量が多くなりガスの量が少なくなります。)



キッチンシャワーの使い方

- キッチンシャワー切替ボタンの(☰)印を押すとシャワー出湯になり、(T)印を押すとストレート出湯になります。



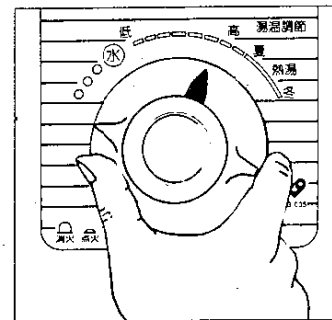
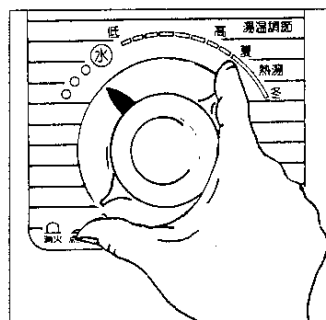
使用手順③

熱湯が必要なとき

- ①熱湯をご使用のときは必ずキッチンシャワーをストレート出湯にして、熱湯が手などにかからないようにご注意ください。
- ②再びご使用になるときのやけど予防のため、熱湯使用後は、湯温調節ハンドルを「低」に戻してから、お湯を止める習慣をつけてください。

水道の水をそのままご使用のとき

- ①湯温調節ハンドルを「水」の位置にすると、水道の水がそのまま出てきます。
- ②湯温調節ハンドルを湯温調節の位置(「低」から「高」の間)に戻すと水は止まります。



＜ご注意＞

- ①点火・出湯中には、湯温調節ハンドルを「水」の位置にはできないようになっていますので、いったんプッシュボタンを押し、消火・出湯停止してから、湯温調節ハンドルを「水」の位置にしてください。
- ②湯温調節ハンドルが「水」の位置にあるときは、プッシュボタンを押しても点火・出湯操作はできないようになっていますので、湯温調節ハンドルを湯温調節の位置(「低」から「高」の間)に戻してから点火・出湯操作をしてください。

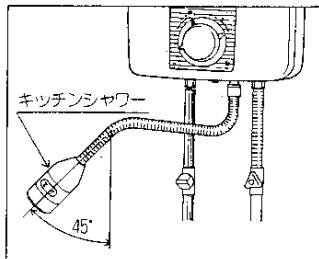
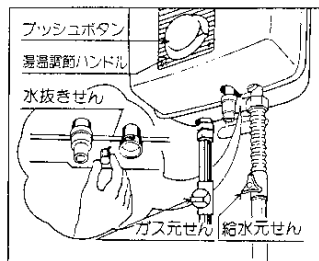
冬期の凍結による破損予防について

①凍結予防について

●冬期、湯沸器の設置場所の温度が氷点下になるときや凍結のおそれがあるときは、湯沸器内の水抜きまたは、湯出口管から水を流しっ放しにするなどの処置をしてください。

②湯沸器内の水抜き方法

- ①ガス元せんを閉じてください。
- ②給水元せんを閉じてください。
- ③湯温調節ハンドルを「低」の位置にしてください。
- ④キッチンシャワーの切替ボタンをストレート側にし、さらに45°の方向に傾けてください。
- ⑤水抜きせんを外してください。
- ⑥湯温調節ハンドルを「低」から「水」の位置にして、水を抜いてください。
- ⑦次にご使用になるまで、そのままにしておいてください。
- ⑧再びご使用になるときは、水抜きせんを閉じ、給水元せんを開いて湯出口管から水が出ることを確かめたのちに10～12ページの「使用手帳」にしたがって操作してください。



③湯出口管から水を流しっ放しにする方法

- ①ガス元せんを閉じてください。
- ②湯温調節ハンドルを「水」の位置にし、給水元せんをゆっくり閉じていき少量の水を流し放しにしてください。
- ③その水量は1分間に牛乳びん1本(約200cc)程度、ただし特に寒い日は水量を少し多くしてください。
(流量が不安定なことがありますので、30分くらい後にもう一度ご確認ください。)

④凍結したとき

- ①湯沸器内の水が凍結したときは、湯沸器に故障・異常が生じることがあります。湯温調節ハンドルを「水」の位置にしたときに水が出てくることを確かめた後、水漏れや作動に異常がないことを、確かめてご使用ください。
- ②凍結により湯沸器や配管が破損すると、高額な修理費用がかかります。(有料)

日常の点検・手入れ

日常の点検

①ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか?

- ①ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。
- ②ゴム管は、赤線までしっかりと差し込みゴム管止めめて止めてください。

②ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。

③熱交換器のつまりやバーナのつまりはありませんか?

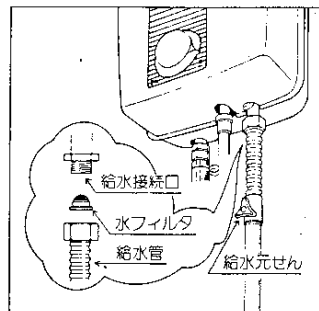
- ①不完全燃焼の原因になりますので、半年に一度程度は前板を外して点検してください。(詳しくは、15ページの「前板の外し方」の項をごらんください。)
- ②熱交換器(排気口部分)やバーナに白い粉やスなどのつまりがあるときは、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に点検・そうじを依頼してください。(有料)

④使用中、不快なおいがしたり、炎に不ぞろいなどの異常があるときはご使用を中止して、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社に点検・修理を依頼してください。(有料)

⑤水フィルタのそうじ

- 湯沸器の水の出が悪くなったときは、水フィルタにゴミや砂がたまっていることがあります。次の手順でつまりを確認し、そうじしてください。

- ①給水元せんを閉じてください。
- ②工具で給水接続管を外し、水フィルタを引き出して、つまりを確認しそうじしてください。
- ③給水元せんを開いて水を流し、配管内からゴミが出ないことをご確認ください。
- ④給水元せんを開いて、元どおりに取り付けてください。



日常の手入れ

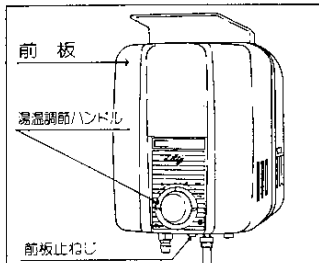
①前板・後板・プッシュボタンおよび湯温調節ハンドルのそうじ

- 湯沸器の前板・後板・プッシュボタン・湯温調節ハンドルおよびプッシュボタンと湯温調節ハンドルのすきまの汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナーなどは使用しないでください。(湯沸器が十分に冷えてから行ってください。)

日常の点検・手入れ②

②前板の外し方

- 湯温調節ハンドルの突起部2ヶ所を手前に引いて湯温調節ハンドルを外してください。
- 前板下面中央の前板止めねじ(1ヶ所)を外してください。
- 前板の下部を少し持ち上げるように手前に引いて前板を外してください。
- 前板を取り付けるときは前板の上部の左右を後板に引っ掛けて、元どおりにしてください。

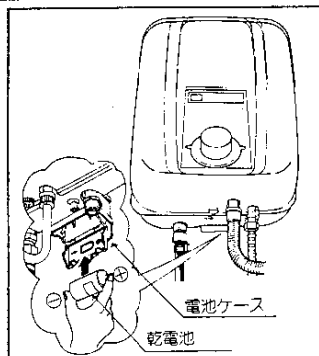


<ご注意>

- 湯沸器の内部は分解しないでください。

乾電池の交換のしかた

- 電池ケースのふたをあけて新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は単1形(1.5V)です。
- 乾電池を入れるときには⊕⊖の方向に注意してください。
(右が⊕側で左が⊖側です。)



<ご注意>

- 乾電池の寿命は使用状況によって多少かわりますが、およそ半年から1年がめやすです。
- 乾電池が消耗してくると、プッシュボタンを押して点火操作したとき、パチパチというスパーク間隔が、長く(1秒間に2~3回程度)なります。このときには、新しい乾電池と交換してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、故障・異常が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象	原因										処置方法	参照ページ	
	たね火に点火しない	プッシュボタンが手放すと消火する	使用中に消火する	爆発的に着火する	点火・出湯操作をしても着火しない	異常な音を立てて燃える	炎が異常・不快なおい気する	異常な臭いをたてて燃える	湯温調節ハンドルを回しても湯温が上がりません	湯温調節ハンドルを回しても湯温が上がりません			湯温調節ハンドルを回しても湯温が上がりません
ガス元せんの開き不十分	○	○	○						○			プッシュボタンを押して消火・出湯停止してからガス元せんを全開にする。	10
給水元せんの開き不十分		○	○	○						○	○	給水元せんを全開にする。	10
配管(ゴム管)内に空気が入っている・残っている		○		○								点火するまで、プッシュボタンを押し続ける。	10
湯沸器の水フィルタがつまっている		○	○	○							○	水フィルタをそうじする。	14
水圧が適切でない			○	○						○	○	点検を依頼する。	8
換気不足			○					○				ご使用を中止し窓をあける。	17
乾電池が消耗している	○	○		○								乾電池を交換する。	15
たね火のノズルづまり	○	○	○	○	○							点検・そうじを依頼する。	—
バーナのつまり								○	○	○		点検・そうじを依頼する。	14
熱交換器のつまり			○					○	○			点検・そうじを依頼する。	14
安全装置が作動中	○	○	○									点検・修理を依頼する。	17
点火装置の故障	○		○									点検・修理を依頼する。	—

- 原因や処置がわからないときは、ガス元せん・給水元せんを閉じて、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

安全装置の種類

① 立消え安全装置(消火センサー)

- バーナ(たね火)が消えるとその安全装置が作動して自動的にガスを止めます。

② 不完全燃焼防止装置

- 部屋の換気不足や熱交換器のつまりなどが起こり、不完全燃焼となりますと、この装置が作動して自動的にガスを止めて、不完全燃焼による事故を防ぎます。

安全装置が作動したときの処置方法

- 使用中にバーナ(たね火)の消火に気付かれたときは次の処置をしてください。

- ① すぐに消火・出湯停止の操作をしてください。
- ② 戸や窓を開いて換気をしてください。
- ③ しばらく(約1分間)待ってから、点火・出湯操作をしてください。
- ④ 不着火または途中消火がたびたび起こる場合は、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

長期間使用しない場合

- ① ガス元せんを閉じ、湯沸器内の水抜きを行ってください。
(詳しくは、13ページの「湯沸器内の水抜き方法」の項をごらんください。)
- ② 乾電池を電池ケースより抜いてください。
(乾電池の液漏れにより湯沸器をいためることがあります。)

アフターサービス

サービスのお申し込み

- ① 16~17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ② 確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合はご自分で修理なさらないでお買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
 - (1) 品 名……ガス瞬間湯沸器
 - (2) 大阪ガス商品コード……湯沸器の左側面に貼付してあります。
(例) **(N)33-035(U)**
大阪ガス株式会社 05
 - (3) 現 象……できるだけ詳しく
 - (4) 道 順……できるだけ詳しく

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認して、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社にご相談ください。
- この場合、部品の交換や調整に要する費用は保証期間にかかわらずに有料となります。

保証について

- この湯沸器には保証書がついています。
- 「保証書」に記載のように、湯沸器の故障について修理いたします。詳しくは「保証書」をごらんください。
- 「保証書」を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この「取扱説明書」とともに大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- ① 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めのサービスショップ、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- ② 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
※ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

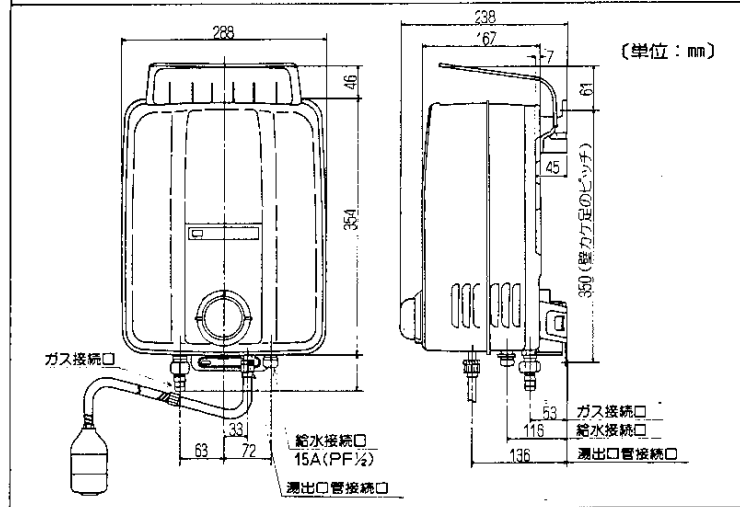
仕様一覧表

品名	ガス瞬間湯沸器				
大阪ガス商品コード	33-035型				
メーカー型式名	R5-22型・R5-22・R5-22A型				
種類	給湯方式	元止め式			
	給排気方式	開放式			
点火方式	連続ス/バーフ点火				
最低作動水圧	0.4kg/cm ²				
使用水圧	0.5kg/cm ² ~10kg/cm ²				
排気温度	260℃以下				
外形寸法	高さ400mm×幅288mm×奥行238mm				
重量(本体)	6.3kg				
接続	給水	15A(PF1/2)			
	ガス	都市ガス φ13mmゴム管接続口 LPガス φ9.5mm (PT1/2TUねじ接続可能)			
安全装置	立消え安全装置・不完全燃焼防止装置				
付属部品	遮熱板・湯出口管セット・木ねじ(3本)				
使用ガスの種類 ガスグループ		1時間当りの ガス消費量	出湯能力 ℓ/分		
			上昇温度		
		kcal/h	m ³ /h	25℃	40℃
都市 ガス	6 C	9,900	2.3	(5.2)	3.2
	13 A	9,900	0.9	(5.2)	3.2
	6 A	9,900	1.5	(5.2)	3.2
L P ガ ス		0.81kg/h		(5.1)	(3.1)

備考 ●出湯能力は給水圧力1kg/cm²のとき。

- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- 都市ガス6CとLPガスの型式名はR5-22型、都市ガス13Aの型式名はR5-22で、都市ガス6Aの型式名はR5-22A型です。
- 出湯能力の()内は、計算値です。実際に25℃上昇にすると湯温調節ハンドルによりガス量が絞られるため出湯量は若干少なくなります。

寸法図



別売部品のご紹介

①換気扇運動スイッチ

- ①室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇運動スイッチのご利用をおすすめします。
- ②換気扇運動スイッチには95-210B、95-210A、95-210、95-205の4種類のものがご使用になれます。
- ③別売部品として、95-210B、95-210A、95-210の3種類の換気扇運動スイッチを準備しています。
- ④換気扇運動スイッチの接続工事は、「換気扇運動スイッチ接続説明書」にしたがって正しく行ってください。

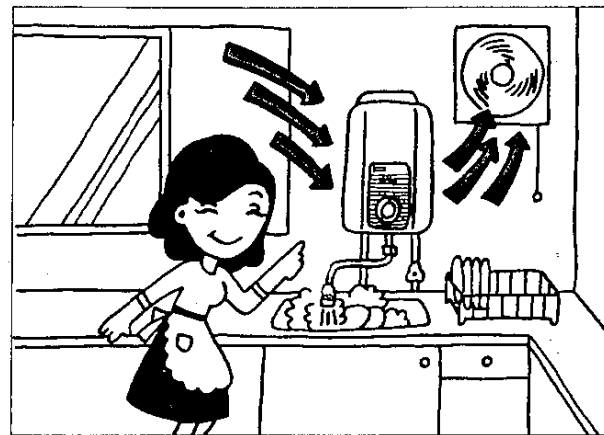
②湯出口管セット

- ①付属の湯出口管(長さ400mm)では短かすぎて、ご使用に支障がある場合は、長い湯出口管(別売部品)をご利用ください。
- ②別売の湯出口管の長さは400mm、600mm、800mm、1,000mmの4種類を準備しています。

特 長

- 1 出湯、出湯停止は簡単操作のワンブッシュ**
1つのブッシュボタンを押すだけで自動的に着火し、出湯します。また、出湯停止も同じブッシュボタンを押すだけで、自動的に消火しお湯が止まります。
- 2 水道の水をそのまま使える機構採用**
湯温調節ハンドルを「水」の位置にすると水道の水がそのまま使えます。さらに、水量の調節も可能です。
- 3 不完全燃焼防止装置付**
換気不足や熱交換器の詰まりなどが起こると、自動的にガスを止めて、消火させる不完全燃焼防止装置が付いています。
- 4 能力切換はガス量・水量連動式**
湯温調節ハンドルを右に回すと湯量が少なくなりガス量が多くなります。湯温調節ハンドルを左に回すと湯量が多くなりガス量が少なくなります。これは、夏場の低温出湯、冬場の高温出湯を可能にするためです。
- 5 立消え安全装置付(消火センサー)**
バーナ(たね火)が消えても自動的にガスを止めて消火させる立消え安全装置(消火センサー)が付いています。
- 6 換気扇連動スイッチ検出部機構内蔵**
この湯沸器には別売の換気扇連動スイッチと接続可能な、検出部が内蔵されています。(室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇連動スイッチのご利用をおすすめします。)

本製品と快適なくらしのために



お湯は暮らしのなかで精神的な豊かさを与えてくれます。ときには心までリフレッシュしてくれます。この湯沸器をお客様の台所快適プランにお役立ていただき本製品を正しく上手に使うことでガスを節約してください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉じ、窓を全開にしてから(火気に注意して)もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。